

第1回海洋教育の集いの報告その1

2月24日(土)、岬陽小学校体育館に於いて、第1回海洋教育の集いが開催されました。市内小学校全校と初声中学校の児童・生徒100名以上が、日ごろの海洋教育の成果を発表しました。それぞれ、工夫を凝らした内容で、海洋教育の広がりを実感しました。



開会式では、杉山実代表理事のあいさつの後、来賓を代表して、吉田英男三浦市長にごあいさつをいただきました。

発表のオープニングは、音楽とともに登場した初声小学校2年生のステージ発表でした。自分たちが、矢作海岸で捕まえてきたカニやエビ、ヤドカリなどを、実際に水槽で飼ってみてわかったことを発表しました。カニは、煮干しよりシラスの方が好きなことが分かったそうです。実際に、海岸から持ち帰った生き物たちの写真をスクリーンに映して説明しました。



ステージ発表の2番手は、旭小学校の3年生。自分たちで飼ったタコ、サメ、トビウオなどについて、各グループが発表しました。動画で、タツノオトシゴの出産の様子や、ワカメの成長の様子などを紹介していたのが印象的でした。最後に、「海の命の歌」を合奏、合唱し、「これからも海を大切にしましょう」と締めくくりました。



ステージ発表の後には、ポスターセッションに移りました。それぞれの学校の様子を報告していきます。最初は、三崎小学校。

5,6年生が体験した海藻おしば教室の体験をもとに、発表しました。実際に作った作品も展示していました。海藻の生育を脅かす環境問題についても発表しました。

本物の海藻を、参加者が触ることもできるように工夫していて、参加した子どもたちは、海藻を触って大喜びしていました。



3月1日より先生方のPC上に、「海洋教育カリキュラム一覧」というリンクアイコンが存在しています。海洋教育カリキュラムを投稿、閲覧可能なイントラネットサイトです。ぜひご活用ください。